

行動指針について（キャンパス入構に関する注意）

【入構前】

□毎日、健康観察（検温・体調チェック）を行い、異常がないことを確認し、日々の数値を記録しておき、データを携行すること。

※なお、発熱（37.5度以上）や体調不良があった際は、症状が出てから8日間経過するまでは登校しない。

□登下校においては、マスクを着用すること。

□手拭き用タオル、消毒ジェル等の感染防止対策用品を持参すること。

□生活圈、行動範囲の感染者情報に注意を払うこと。

※本学では、厚生労働省が提供する、「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」のインストールを推奨します。

□急遽、予定されていた集合型授業が実施されない可能性もあるため、manabaのコースニュースやC plusの休講情報をこまめに確認すること。

【入構中】

□十分なソーシャルディスタンスの確保に努めること。

□キャンパス内の移動および授業中は、マスクを着用すること。

□ドアノブ・エレベータのボタンは、なるべく素手で触らないこと。

□エレベーターの利用は障害のある人や高齢の人を優先し、極力、階段を利用すること。

□教室に到着したら、先ず最寄りの洗面所で手洗いおよびアルコール消毒をすること。

※各教室および共用部にアルコール消毒液を設置しています。

□教室の窓やドアを5～10 cm以上開け、自然換気を行うこと。

□各自、使用する机・椅子の除菌を行うこと。

※各教室に除菌シートを設置しています。なお、授業終了後も可能な範囲でご協力をお願いします。

□授業中（授業時間外も）、体調が悪くなった場合は、経済学部事務室に行くこと。

□授業終了後は、教室内に滞留せず、速やかに移動または退構すること。

□入構中に接した人と入退構の時間を記録しておくこと。

上記の入構に関する諸注意は大学への入構時に限らず、日々の生活を送るにあたり社会一般に求められる基本的な遵守事項も多く含まれています。学生の皆さんは、入構時に限らず上記諸注意を意識し、自身への感染のリスクを最小限に抑える行動をとるように心がけてください。